

# 株式会社ニッカトー

## 2020年3月期（第3Q）決算説明資料

## 目次

1. 中長期的な戦略について
2. 2020年3月期（第3Q）業績概要
3. 2020年3月期業績予想
4. 事業トピックス

## 目次

### 1. 中長期的な戦略について

### 2. 2020年3月期（第3Q）業績概要

### 3. 2020年3月期業績予想

### 4. 事業トピックス

## 中長期的な経営戦略について

当社は得意とする特定分野の**セラミックス**  
**製品**並びに**計測機器**と**加熱装置**のリーディ  
ングカンパニーを目指しております。

## 中期経営計画における重点施策について

- ジルコニアボール並びに構造部材及び圧電体・次世代電池向け熱処理道具材の生産能力の増強
- 温室効果ガス排出量の削減等エネルギーの効率的利用と各種部材の生産技術の向上による品質、生産効率の改善による合理化の推進
- マーケットニーズに対応したセラミックス新製品及びエンジニアリング新商品の開発と拡販
- 働き方改革の実現及び中長期的な労働力の確保並びに人材教育の推進
- 内部統制システムの構築に基づくガバナンス強化及びリスク管理の強化や内部監査の充実による管理体制の整備

## 目次

1. 中長期的な戦略について
- 2. 2020年3月期（第3Q）業績概要**
3. 2020年3月期業績予想
4. 事業トピックス

# 経営成績の概要

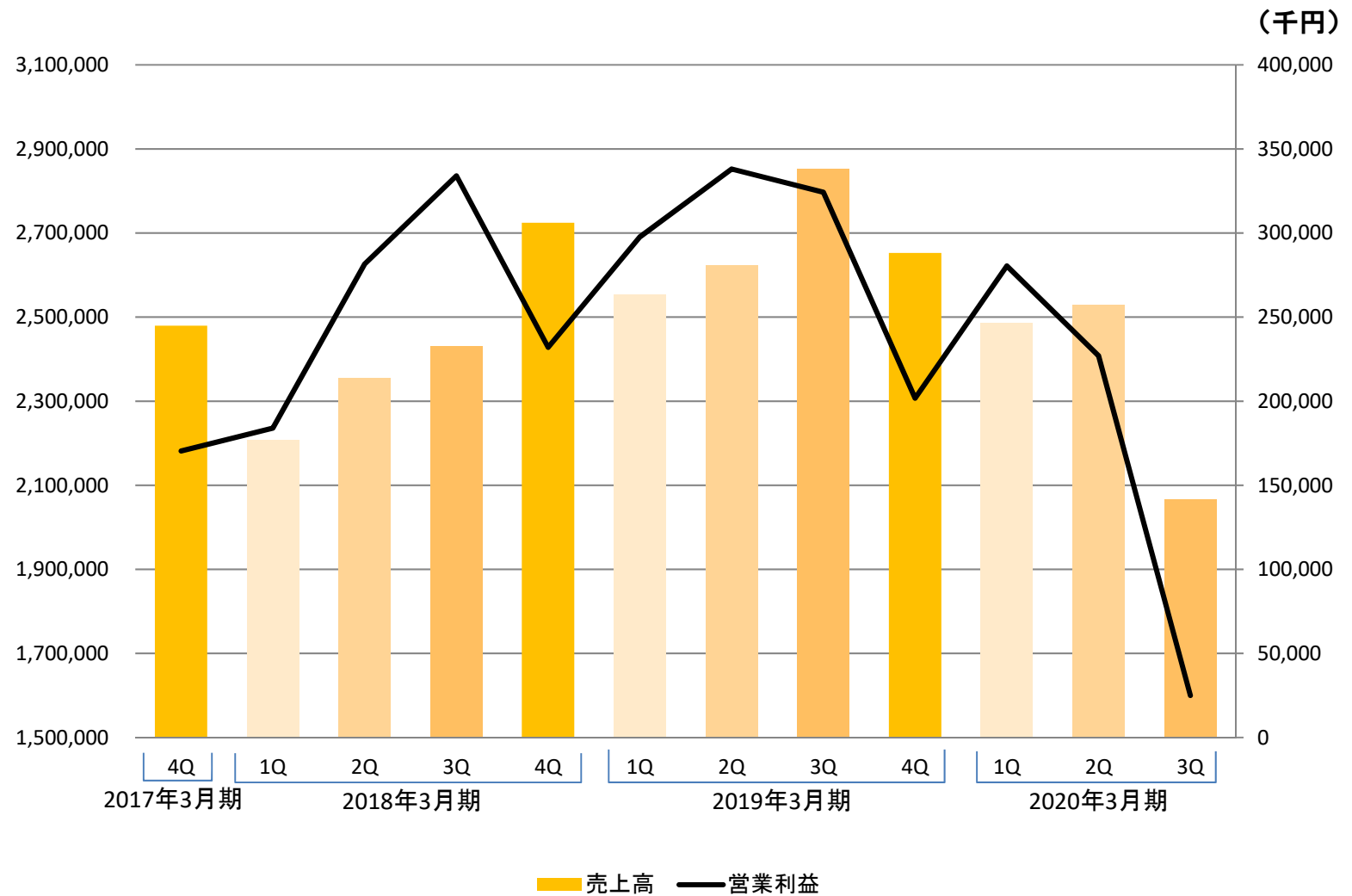
(単位：千円)

	2019年3月期3Q		2020年3月期3Q		対前年		対通期予算	
	実額	売上比	実額	売上比	増減額	増減率	予算	達成率
売上高	8,030,433		7,081,830		-948,602	-11.8%	9,400,000	75.3%
売上原価	6,018,426	74.9%	5,495,201	77.6%	-523,225	-8.7%	7,450,000	73.8%
販売費及び一般管理費	1,051,989	13.1%	1,054,869	14.9%	2,880	0.3%	1,410,000	74.8%
営業利益	960,017	12.0%	531,759	7.5%	-428,257	-44.6%	540,000	98.5%
経常利益	989,651	12.3%	597,021	8.4%	-392,629	-39.7%	610,000	97.9%
当期純利益	671,606	8.4%	400,404	5.7%	-271,202	-40.4%	400,000	100.1%

研究開発費	135,077	1.7%	163,931	2.3%	28,854	21.4%	-	-
EPS(円)	56.27	-	33.55	-	-22.72	-	-	-
ROA (%)	6.3	-	3.5	-	-2.8	-	-	-
ROE (%)	8.7	-	4.9	-	-3.8	-	-	-

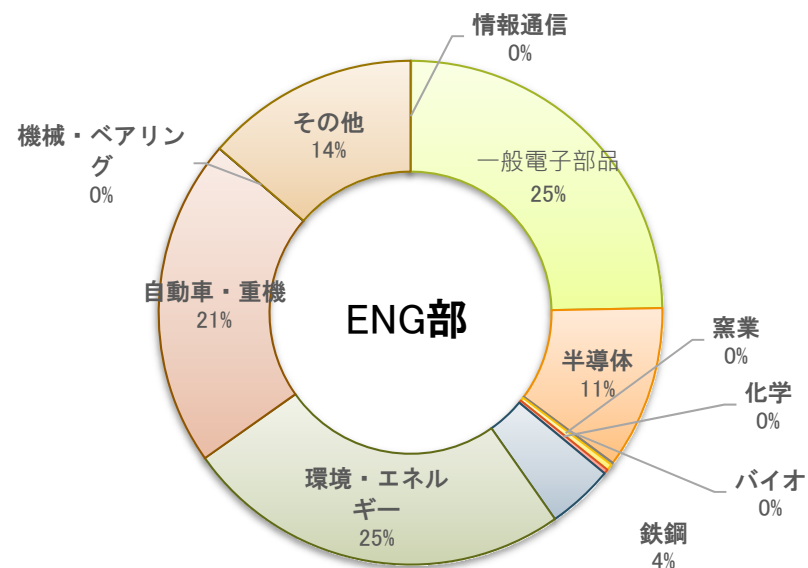
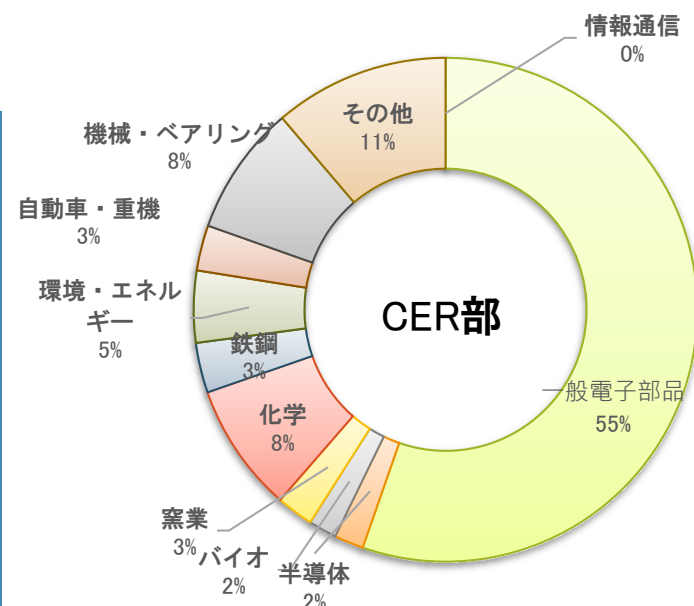
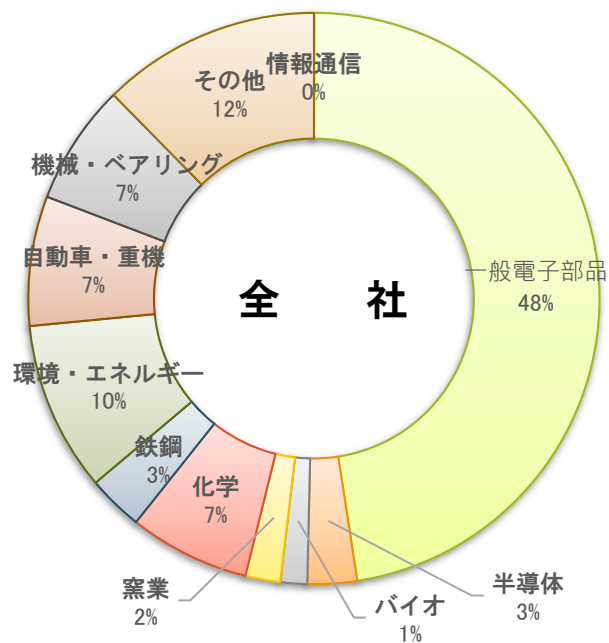
※ROA・ROEの数値は第3四半期の実績数値を通期換算して計算しております。  
 2020年3月期通期予算を修正いたしております。詳しくは2020年2月3日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

# 売上高・営業利益推移（四半期毎）





# マーケット別構成比



※マーケット別構成比は2020年3月期（第2Q）のデータを使用いたしております。

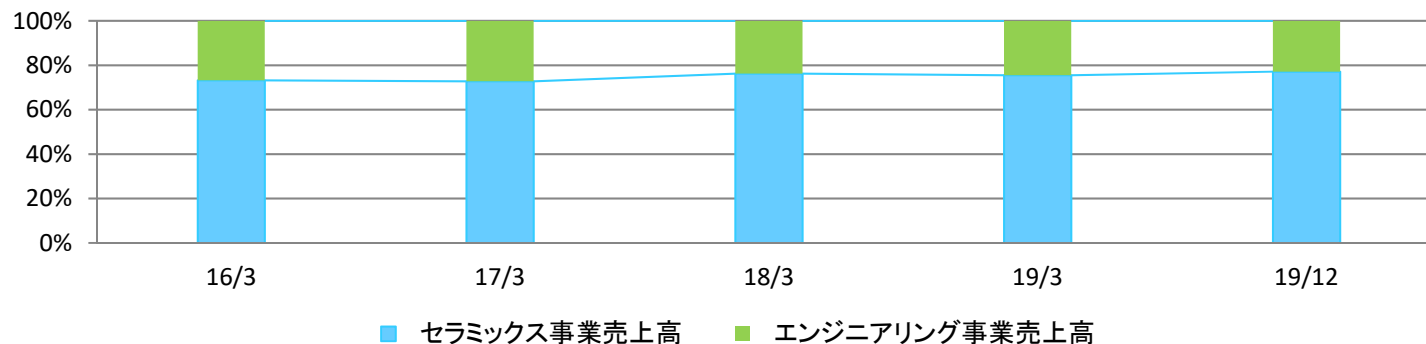
# セグメント別業績

●セグメント別(四半期)

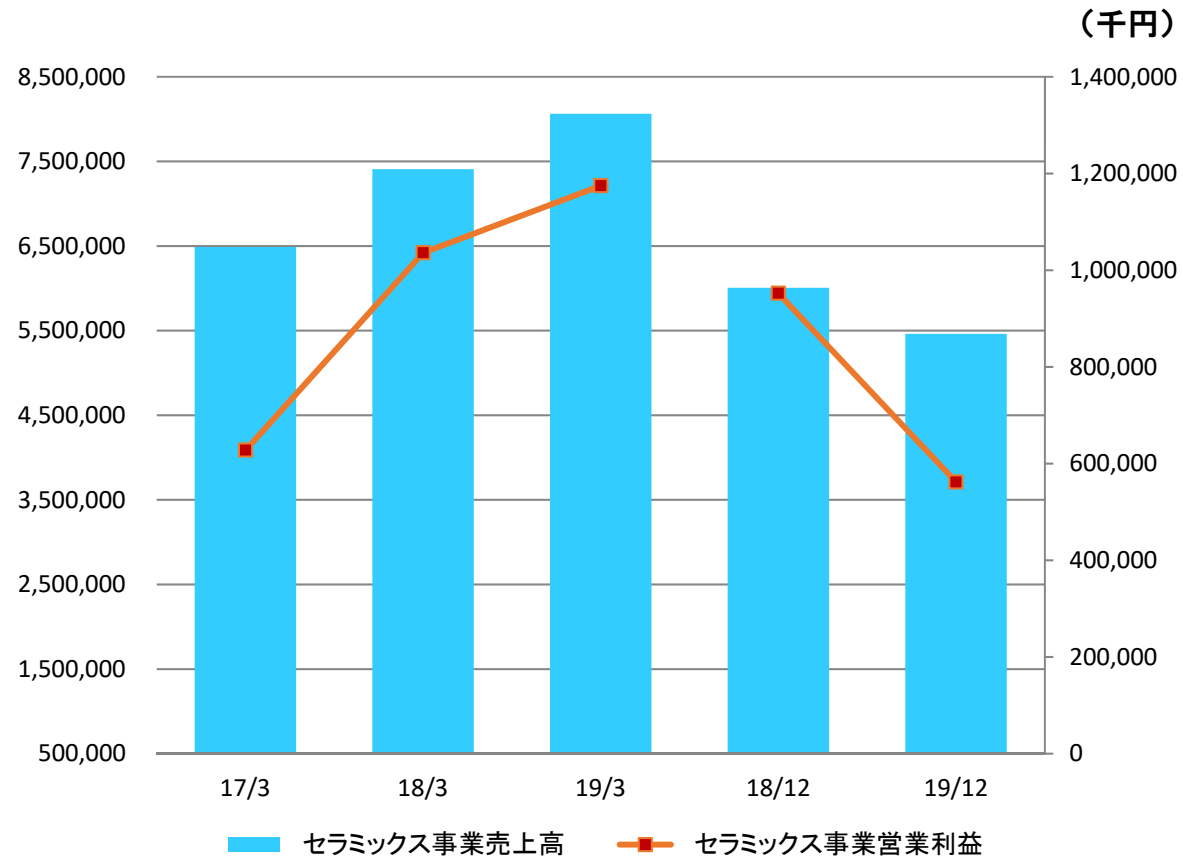
(千円)

	2019年3月期3Q		2020年3月期3Q		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
<b>売上高</b>	8,030,433	100.0%	7,081,830	100.0%	△ 11.8%
<b>セラミックス事業</b>					
機能性セラミックス	359,407	4.5%	404,245	5.7%	12.5%
耐摩耗セラミックス	3,823,714	47.6%	3,495,589	49.4%	△ 8.6%
耐熱セラミックス	1,664,293	20.7%	1,417,579	20.0%	△ 14.8%
理化学用陶磁器他	157,792	2.0%	143,284	2.0%	△ 9.2%
合 計	6,005,208	74.8%	5,460,699	77.1%	△ 9.1%
<b>エンジニアリング事業</b>					
加熱装置	631,963	7.9%	360,668	5.1%	△ 42.9%
計測機器・同システム	1,393,261	17.3%	1,260,463	17.8%	△ 9.5%
合 計	2,025,225	25.2%	1,621,131	22.9%	△ 20.0%
<b>営業利益</b>	960,017	-	531,759	-	-
セラミックス事業	951,938	-	561,885	-	-
エンジニアリング事業	8,078	-	△ 30,125	-	-

## 売上構成比の推移

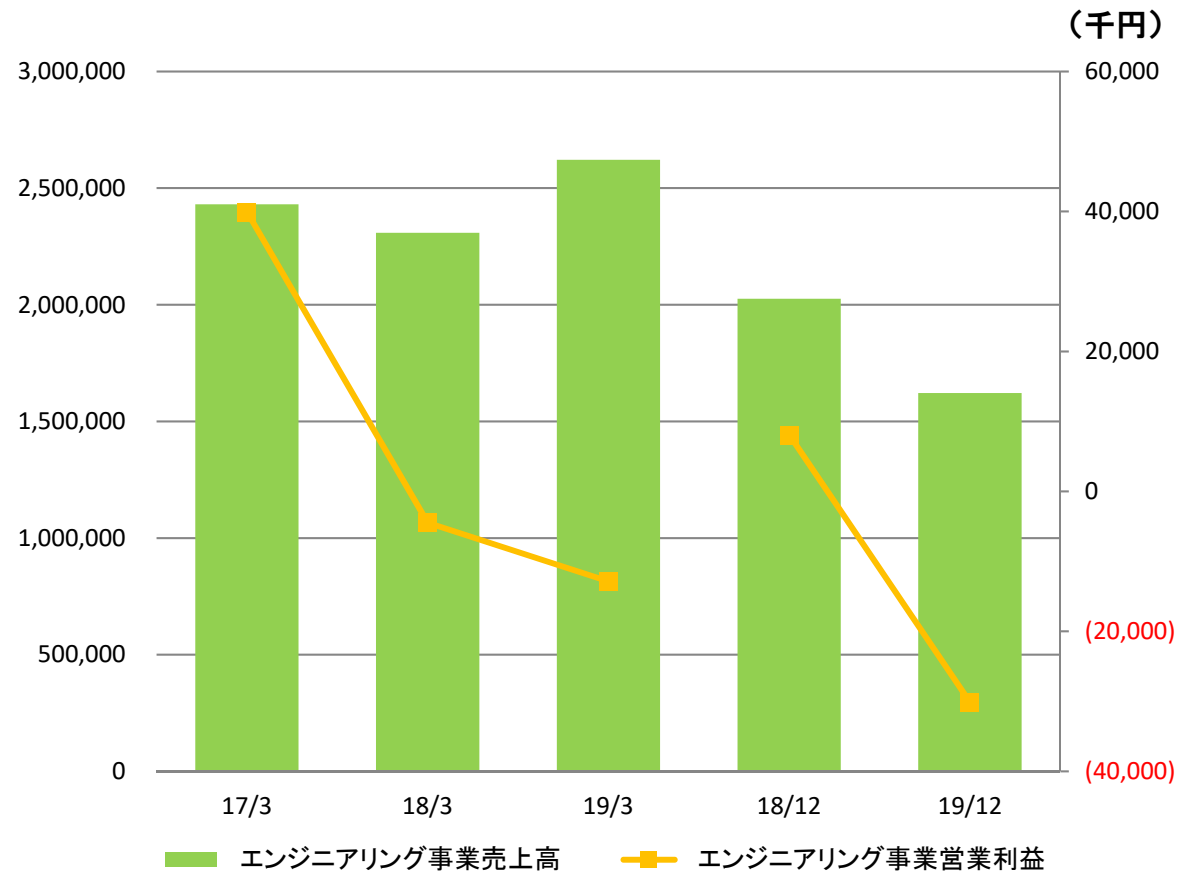


# セラミックス事業



- ・ 電子部品業界の在庫調整はほぼ完了したとみられ、今後の動向について注視。
- ・ フィルターチューブ等 機能性セラミックスは堅調。
- ・ Y T Z ボール新棟建設は、計画通り着工済。

# エンジニアリング事業



- 設備投資案件自体が少なく、受注面で苦戦が続く、消耗品についても粗利益の確保に苦慮。
- 組織体制の見直し効果は、現時点では限定的。

# 貸借対照表

(千円)

	19/3末	19/12末	増減率
<b>流動資産</b>	<b>9,135,719</b>	<b>9,063,507</b>	<b>△ 0.8%</b>
現金預金	2,627,237	2,930,130	11.5%
売掛債権	3,749,013	3,079,788	△ 17.9%
棚卸資産	2,625,438	2,921,755	11.3%
その他	134,029	131,833	△ 1.6%
<b>固定資産</b>	<b>5,945,241</b>	<b>6,735,657</b>	<b>13.3%</b>
有形固定資産	3,846,332	4,541,394	18.1%
無形固定資産	56,469	146,321	159.1%
投資その他	2,042,439	2,047,942	0.3%
<b>資産合計</b>	<b>15,080,961</b>	<b>15,799,165</b>	<b>4.8%</b>

## /流動資産

現金預金 長期借入金の借入により現金預金が増加

売掛債権 売上の減少により売掛債権が減少

## ・固定資産

有形固定資産 設備投資により有形固定資産が増加

	19/3末	19/12末	増減率
<b>流動負債</b>	<b>3,824,618</b>	<b>3,133,855</b>	<b>△ 18.1%</b>
買掛債務	1,958,648	1,535,023	△ 21.6%
短期借入金	450,696	629,392	39.6%
その他	1,415,273	969,439	△ 31.5%
<b>固定負債</b>	<b>367,406</b>	<b>1,621,617</b>	<b>341.4%</b>
長期借入金	6,500	1,232,010	-%
その他	360,906	389,607	8.0%
<b>純資産</b>	<b>10,888,936</b>	<b>11,043,692</b>	<b>1.4%</b>
株主資本	10,456,484	10,594,175	1.3%
評価・差額等	432,451	449,516	3.9%
<b>負債・純資産合計</b>	<b>15,080,961</b>	<b>15,799,165</b>	<b>4.8%</b>

## ・流動負債

買掛債務 売上の減少により買掛債務が減少

## ・固定負債

長期借入金 長期借入金の借入による増加

## ・純資産

評価・差額等 株価上昇による評価差額金の増加により増加

# キャッシュフロー計算書

(千円)

	18/9末	19/9末	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	462,041	572,556	110,514
税引前当期純利益	651,634	551,330	△ 100,303
減価償却費	257,684	299,974	42,290
棚卸資産の増減額	△ 166,260	△ 279,950	△ 113,689
その他	△ 281,016	1,200	282,217
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 278,471	△ 995,541	△ 717,069
有形固定資産の取得	△ 298,397	△ 967,411	△ 669,014
その他	19,925	△ 28,129	△ 48,055
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 210,791	△ 165,450	45,341
配当金の支払額	△ 143,029	△ 131,410	11,618
その他	△ 67,762	△ 34,039	33,722
現金等の増減額	△ 27,221	△ 588,435	△ 561,213
現金等の期末残高	2,755,462	2,038,802	△ 716,660

- ・ 営業CF  
棚卸資産の増減額  
在庫の増加  
その他  
売掛債権の減少
- ・ 投資CF  
有形固定資産の取得  
セラミックス事業設備投資
- ・ 財務CF  
配当金の支払額  
配当額12円→11円
- その他  
借入金の返済による減少

※キャッシュフロー計算書は2020年3月期（第2Q）のデータを使用しております。

## 目次

1. 中長期的な戦略について
2. 2020年3月期（第3Q）業績概要
- 3. 2020年3月期業績予想**
4. 事業トピックス

# 2020年3月期業績予想 (1)

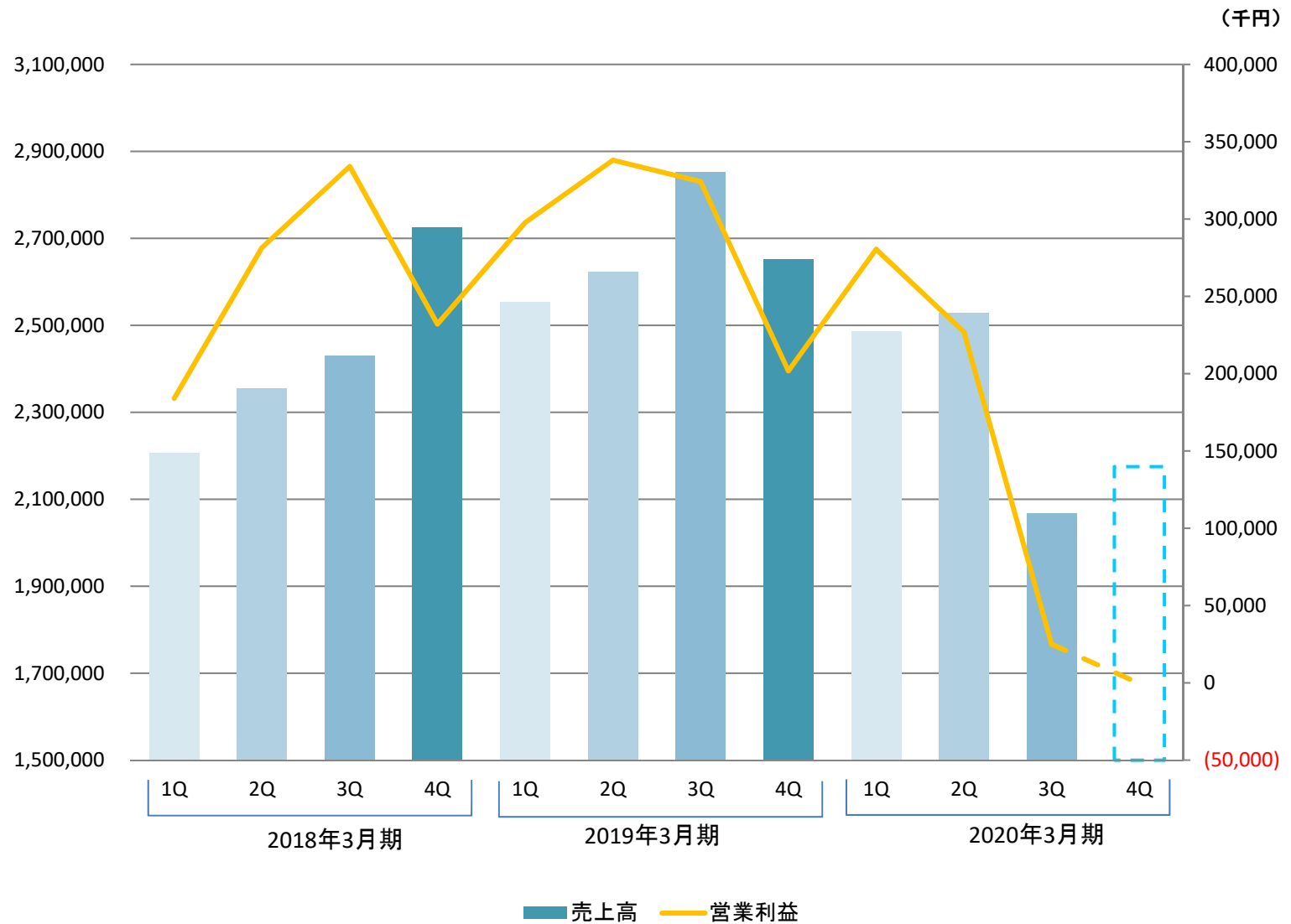
(千円)

	第3四半期(予測)		第3四半期(実績)		対予測比	2020年3月期(予測)		対予測(通期)比
	金額	売上比	金額	売上比	達成率	金額	売上比	進捗率
売上高	7,225,000		7,081,830		98.0%	9,400,000		75.3%
売上原価	5,645,000	78.1%	5,495,201	77.6%	97.3%	7,450,000	79.3%	73.8%
販売費及び一般管理費	1,060,000	14.7%	1,054,869	14.9%	99.5%	1,410,000	15.0%	74.8%
営業利益	520,000	7.2%	531,759	7.5%	102.3%	540,000	5.7%	98.5%
経常利益	565,000	7.8%	597,021	8.4%	105.7%	610,000	6.5%	97.9%
当期純利益	380,000	5.3%	400,404	5.7%	105.4%	400,000	4.3%	100.1%

※2020年3月期通期予算を修正いたしております。詳しくは2020年2月3日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。



## 2020年3月期業績予想 (2)

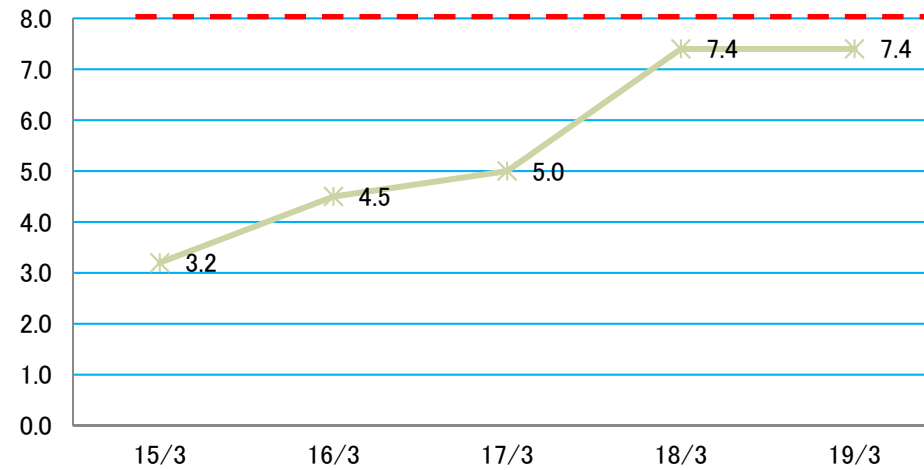


## 目標とする経営指標（1）

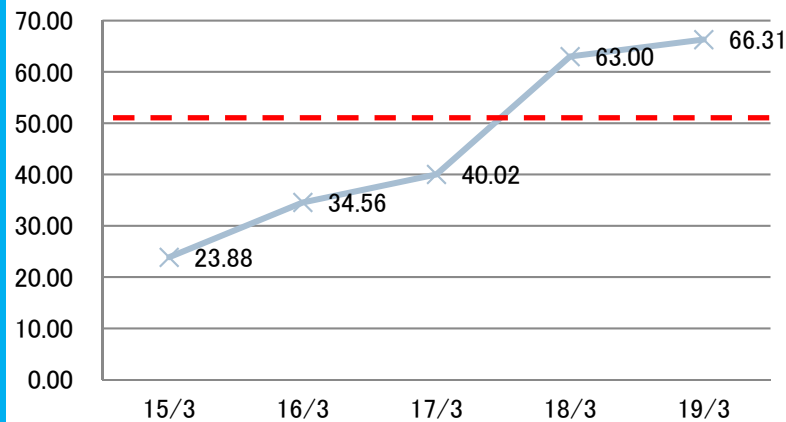
- ROE（自己資本当期純利益率）  
→8%以上
- EPS（1株当たり当期純利益）  
→50円以上
- 配当性向  
→30%～50%

# 目標とする経営指標 (2)

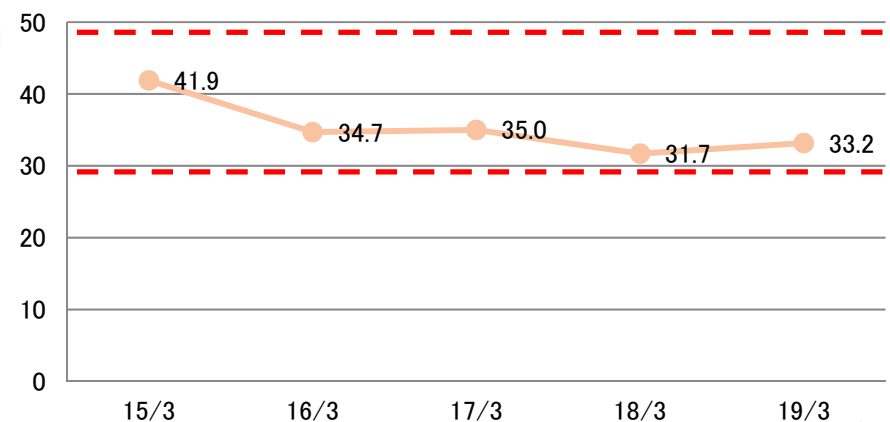
(過年度実績)  
ROE (%)



EPS(円)



配当性向 (%)



## 目次

1. 中長期的な戦略について
2. 2020年3月期（第2Q）業績概要
3. 2020年3月期業績予想
- 4. 事業トピックス**

# 新規製品について

## 窒化珪素事業の更なる拡大へ 【新製品】『SUN-15ボール』上市

ニッカトーでは、1960年代より粉砕用メディアとしてセラミックボールの開発を開始、今日に至るまで安定した優れた品質の追求はもちろんのこと、材質・サイズのラインナップを強化し、No.1メーカーとしての地位を確立しました。2011年にはベアリング用SNT07ボールを開発、ボール製造ノウハウをこれまでの粉砕用途外の分野にも広げております。

近年、電子機器や自動車などが機能性を高めるにつれ、それらに使用される機能材料も特異な性質を持ったものが増加しております。これまで、市場からの粉砕・分散用メディアへの要求品質は、「固く、重く、減りにくい」が一般的でしたが、「軽くて小さい」というニーズにも注目が集まっております。今後高まると思われるそれらのニーズをいち早く捕らえ、当社では今春より窒化珪素ボール『SUN-15ボール』を一般上市いたしました。窒化珪素では世界最小のφ0.3mmよりサイズラインアップを整え、幅広いユーザーニーズへ対応します。既存のベアリングボール、構造部材製品と合わせ、窒化珪素製品を当社重点事業と位置付け、更なる成長を目指します。



【窒化珪素構造部材】



【SUN-15ボール】

**（注）本資料に記載いたしております業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分にリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。**